

**令和4年度進行管理・評価シート**  
**鶴岡市歴史的風致維持向上計画（平成25年11月22日認定）**  
（最終変更令和5年3月17日）

**□進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の円滑な推進	.....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観計画の活用	.....	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 鶴岡公園園内整備事業	.....	3
2 鶴岡公園内堀周辺道路修景事業	.....	4
3 門前町歴史まちづくり活動支援事業	.....	5
4 宿坊街まち並み保全及び修景整備促進事業	.....	6
5 松ヶ岡振興支援事業	.....	7
6 史跡内及び周辺修景整備事業	.....	8
7 蚕室群活用整備事業	.....	9
8 シルクタウンプロジェクト推進事業	.....	10
9 歴史まちづくり人材育成事業	.....	11
10 鶴岡市歴史的風致維持向上計画啓発事業	.....	12
11 城下町つるおかりブランディングプロジェクト推進事業	.....	13
12 市指定有形文化財大宝館整備事業	.....	14
13 史跡松ヶ岡開墾場保存修理事業	.....	15
14 民俗芸能保存伝承支援事業	.....	16
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定	.....	17
2 文化財の修理、周辺環境の整備、防災事業	.....	18
3 文化財の普及・啓発、防災訓練、民間団体への助成・支援・協力	.....	19
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 城下町鶴岡の歴史伝える「荘内大祭」ほか38件	.....	20
⑥その他(様式1-6)		
1 歴史的風致維持向上計画事業実施の効果	.....	21
2 歴史的風致維持向上計画の説明、視察対応	.....	22

<b>□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)</b>	.....	23
--------------------------------	-------	----

評価軸①-1  
組織体制

項目		評価対象年度	令和4年度
			現在の状況
計画の円滑な推進			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- 計画の進捗管理・評価、計画推進に係る事項・計画変更の協議は鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会を中心に行う。
- 建設部都市計画課、企画部政策企画課、商工観光部観光物産課、教育委員会社会教育課、羽黒庁舎総務企画課及び産業建設課を事務局とし、連絡調整を行い計画の円滑な推進に努める。
- 必要に応じて鶴岡市文化財保護審議会及び鶴岡市景観審議会、鶴岡市都市計画審議会などに計画の実施状況を報告し意見を求める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域が3地区(鶴岡公園とその周辺地区、羽黒手向地区、羽黒松ヶ岡地区)ある本市では、それぞれの地域において整備や振興を支援する主務担当課(鶴岡公園とその周辺地区:建設部都市計画課、羽黒手向地区:羽黒庁舎総務企画課、羽黒松ヶ岡地区:企画部政策企画課)を中心として文化財事業を所管する教育委員会社会教育課のほか、商工観光部観光物産課、羽黒庁舎産業建設課が連携し、計画の進行管理と歴史的まちづくりを通じた本市の魅力発信に努めている。

会議等の開催は、令和5年2月7日に副市長が会長である庁内関係部課長による推進会議、同2月21日には鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会(法定協議会)を開催しているほか、関係課担当者会議を実施し、計画の適正な執行と円滑な進行管理を図っている。

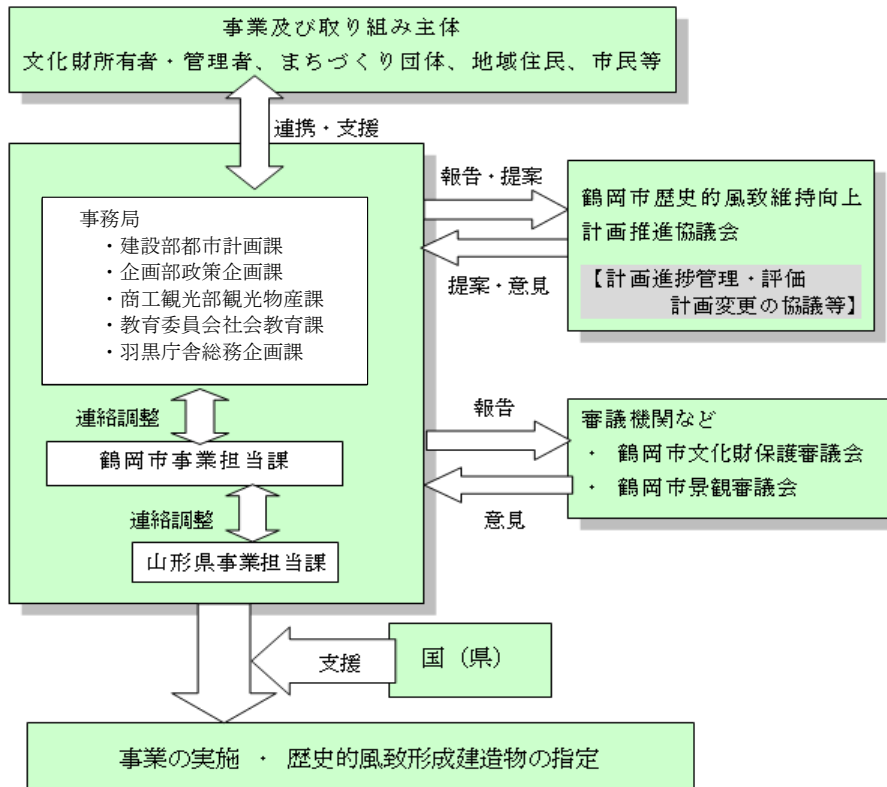
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

- 令和4年度庁内推進会議(令和4年12月16日)  
①鶴岡市歴史的風致維持向上計画(第2期)について
- 令和4年度第11回鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会(令和5年1月19日)  
①鶴岡市歴史的風致維持向上計画(第2期)について
- 令和4年度庁内推進会議(令和5年2月7日)  
①令和4年度の事業報告・事業評価、計画の変更について
- 令和4年度第12回鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会(令和5年2月21日)  
①令和4年度の事業報告・事業評価、計画の変更について



## 評価軸②-1

## 重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
景観計画の活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	<input type="checkbox"/> 景観計画地域別方針との適合 <input type="checkbox"/> 大規模建築物等の景観に関する制限		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>・平成20年5月に策定した「鶴岡市景観計画」に基づき、良好な景観形成のための規制誘導を実施した。</p> <p>・令和4年度は、景観計画区域内(市全域)における大規模建築行為について市全域で24件の届出を受付、良好な景観形成のために意匠や色彩に関する指導を実施した。</p>			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p>令和4年度における大規模建築物の届出</p> <p>景観計画区域内における行為の届出            届出件数 24件(令和5年1月26日現在)            届出行為地域別内訳 鶴岡18件、藤島0件、羽黒1件、櫛引1件、朝日3件、温海1件            届出対象物内訳 建築物16件、工作物6件、両方2件</p>			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
鶴岡公園園内整備事業 【鶴岡公園とその周辺地区】		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度 ~ 令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)  
社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 鶴岡公園整備基本計画に基づいた北ブロック(歴史文化ゾーン)整備計画書に基づいた事業を実施する。園路・参道・公園入り口の整備(舗装化、石貼りなどユニバーサルデザイン化)、城址公園内トイレ改修工事、禽舎正面広場の整備および老木樹木の再整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

鶴岡公園整備基本計画に基づき、旧鶴ヶ岡城二ノ丸に位置し猿舎、禽舎があった箇所について、鶴ヶ岡城址公園のシンボルとして、歴史的風致・風格のある、市民や観光客が憩いやすさ、賑わいのある広場として整備を行うため、鶴岡公園環境整備懇談会、市民ワークショップ等を開催、正面広場整備計画を策定した。  
鶴岡公園整備基本計画、正面広場整備計画等に基づき、令和3年度に測量及び実施設計を行い、令和3年度から2カ年事業として正面広場の整備を行い令和4年度年に工事が完成した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

完成写真



第1回鶴岡公園環境整備懇談会





評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
鶴岡公園内堀周辺道路修景事業 (市道鶴岡公園新形町線歩行者空間整備事業) 【鶴岡公園とその周辺地区】		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度 ~ 令和3年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 ワークショップや関係団体等との意見交換を実施し、鶴ヶ岡城内堀の周辺に位置する道路(市道鶴岡公園新形町線)の無電柱化及び修景整備を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

内堀周辺道路(市道鶴岡公園新形町線)において、令和元年度に電柱移設等による無電柱化を実施した。道路の美化等の修景整備として、令和2年度に事業区間全線の下水道施設の整備L=552m及び美化のための既設舗装更新A=4060m<sup>2</sup>、車止め基礎設置N=99基、令和3年度に道路の美化化に関連する事業として、路面着色A=1651m<sup>2</sup>、街路灯設置N=11基、交通標識等の設置・塗装N=12基、車止め設置N=99基、ベンチの設置N=10基を実施した。  
令和4年度は、県立鶴岡南高等学校前及び鶴岡工業高等学校前の道路横断面部に石張舗装A= 87m<sup>2</sup>を実施した。

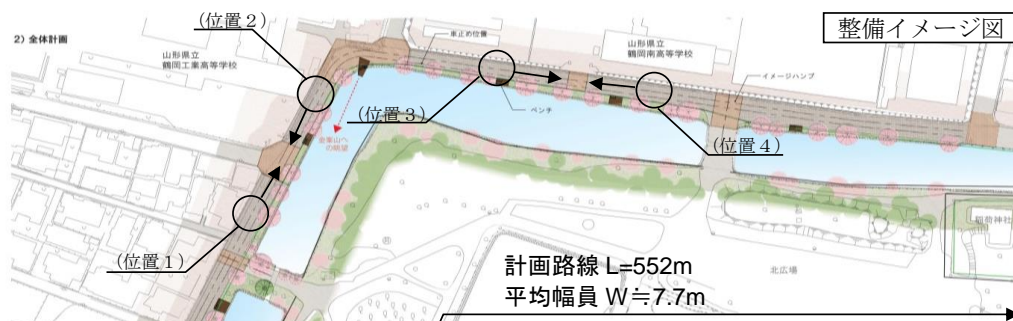
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【令和4年度】

○高校前2箇所の道路横断面部に石張舗装を実施



評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
<p>門前町歴史まちづくり活動支援事業 【羽黒手向地区】</p>			<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成25年度～令和4年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	地域の住民や団体等で構成する協議会が主体となって行うまちづくり協議会やまちあるきマップの作成、住民合意形成のためのワークショップ、シンポジウム開催等の活動を支援する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>出羽三山魅力発信協議会では、鶴岡市手向地区自治振興会と協働し、国の特別天然記念物に指定されている羽黒山杉並木の保全をテーマにした講演会や、鶴岡市手向地区自治振興会の「第17回住まいのまちなみコンクール」受賞記念講演会を開催し、歴史的景観の保全・承継に対する住民意識の高揚や、また、市内外に向けた手向地区の魅力発信に寄与した。</p> <p>また、令和2年3月に完成した随神門前ポケットパークや蝦夷館公園でマルシェイベント「手向門前市」が開催されるなど、地区の魅力を生かした地域主体の取り組みが積極的に行われている。</p>			
te	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p>1. 令和4年度出羽三山魅力発信協議会講演会</p> <p>○日時 令和4年6月21日(火)</p> <p>○内容 「羽黒山杉並木の現状と保全」 講師:梅津 勤一氏(樹木医)</p>			
			
<p>2. 手向門前市</p>			
			
<p>○第1回 日時 令和4年6月25日(土) 場所 随神門前ポケットパーク 来場者 約300人</p>		<p>○第2回 日時 令和4年10月16日(日) 場所 蝦夷館公園 来場者 約200人</p>	
<p>3. 鶴岡市手向地区自治振興会</p> <p>○日時 令和5年3月4日(土)</p> <p>○内容 講演「町の文化資産を生かす―東京谷根千の40年」 講師:森 まゆみ氏(住まいのまちなみコンクール審査員、作家・編集者) トークセッション「未来への次の一手!これからのまちづくり」 コーディネーター:高谷時彦氏(東北公益文科大学非常勤講師) パネリスト:森 まゆみ氏 阿部 良一氏(出羽三山神社権宮司)</p> <p>○開催方法 ハイブリット開始</p>			
			



評価軸③-5  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
宿坊街まち並み保全及び修景整備促進事業 【羽黒手向地区】		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 宿坊街における沿道部分の外構空間等は歴史的風致の保全に重要な景観形成要素である。修景を行うことで統一感のある良好な景観が形成され歴史的風致の維持及び向上が図られる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「鶴岡市門前町手向地区まちなみ景観形成事業補助金」を活用し、令和4年度は7件の修景整備が実施され、さらにまちなみの連続性が高まり、良好な景観が形成された。(平成29年度6件、平成30年度7件、令和元年度6件、令和2年度6件、令和3年度7件、6年間合計39件整備)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

1. 「鶴岡市門前町手向地区まちなみ景観形成事業補助金」を活用した修景整備

門前町手向地区固有の歴史あるまちなみ保全を目的に、道路に面する建物や土塁、生垣、植栽等の外構など、宿坊街の佇まいを感じさせる特徴的な構造物について、統一感のある修景整備を行う住民に対して、費用の一部を補助した。

- 上長屋集落 2件(宿坊1件、住宅1件)…住居・車庫の外壁整備、塀の整備
- 鶴沢町集落 2件(宿坊1件、住宅1件)…住居・車庫の外壁整備、門塀の整備
- 松原町集落 3件(店舗1件、住宅2件)…店舗・住宅・車庫の外観整備、門の塗替え

修景整備事業1



修景整備事業2



修景整備事業3



修景整備事業4



2. 「手向まちなみ委員会」の開催

- 期 日 令和4年7月13日(水)  
9月5日(火)  
令和5年2月27日(月)

○内 容 申請内容等の審査・検討

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
松ヶ岡振興支援事業 【羽黒松ヶ岡地区】	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 松ヶ岡地域では明治初期に行われた開墾当時の形態を継続し、施設や開墾当初の趣旨目的、実践の多くの部分が今も守られている。これらを背景としたビジョンを策定し、将来的にソフト活用と連動して史跡内建造物を有効活用する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

松ヶ岡地域住民と場内事業者が中心となり策定した「松ヶ岡地域振興ビジョン」(H26年度～R3年度)、また、日本遺産事業の一環として住民ワークショップを通して立案した日本遺産ブランド戦略「松ヶ岡クラフトPARK構想」(H30年度)に基づく具体的なソフト事業として、令和3年度は、松ヶ岡開墾150年を冠した様々な催し等を実施し、その歴史と文化の承継と交流人口の拡大を図った。

あわせて、日本遺産としての魅力をより一層高めることを目的として、蚕室群の活用や周辺環境の整備を行っている。  
 参考:1番蚕室松ヶ岡開墾記念館の入館者数 H25年度 2,400人 → R元年度 4,700人 → R4年度 3,670人(R4.12月末)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない  
 「史跡内及び周辺修景整備事業」及び「蚕室群活用整備事業」で開墾場周辺の回遊性を高める通路・多目的広場と絹織物体験施設が完成した。  
 令和4年3月に新たな団体「史跡松ヶ岡開墾場管理運営協議会」が設立され、指定管理に向けた運営体制の強化や効率的で持続可能な体制確立の支援を行う。

状況を示す写真や資料等

○イベントの開催

- ・四番蚕室「シルクミライ館」リニューアルオープンセレモニー(4/15)
- ・松ヶ岡桜まつり&春の桜マルシェ(4/16～17)
- ・春蚕(約3,500頭)展示飼育(6/6～7/3)
- ・松ヶ岡開墾150年記念式・祝賀会(6/12)
- ・松ヶ岡音楽祭 Jazzの夕べ(7/16)
- ・松ヶ岡謎解きクイズラリー(8/6～8/28)
- ・松ヶ岡夏祭り(8/7)
- ・晩秋蚕(約7,000頭)展示飼育(9/2～9/25)
- ・松ヶ岡音楽祭 ミュージックフェス(9/11)
- ・酒井家庄内入部400年記念松ヶ岡クラフトフェス&松ヶ岡秋の収穫マルシェ(10/1,2)
- ・日本遺産ウィークin鶴岡(2/7～2/14)  
 内容:松ヶ岡開墾記念館無料開放および本陣ライトアップ(2/11～13)



松ヶ岡桜まつり&春の桜マルシェ



松ヶ岡開墾150年記念式



松ヶ岡音楽祭 Jazzの夕べ



松ヶ岡夏祭り



酒井家庄内入部400年記念  
松ヶ岡クラフトフェス&秋の収穫マルシェ



本陣ライトアップ



評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
史跡内及び周辺修景整備事業 (松ヶ岡開墾場周辺環境整備) 【羽黒松ヶ岡地区】		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和3年度～令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 明治初期の景観への復元を前提として修景整備を行い、創建当時の開墾の歴史が感じられ、また、史跡を活用した催事により市民の関心の高まり、来訪者等の増加により、歴史的風致の維持向上が図られる。史跡中央を東西に通る道路については、明治初期の時代背景にあった構造とし、寸法や路盤の材料を検討し整備する。また、史跡内への車の進入を禁止するための副道や駐車場を整備する。史跡内の景観形成に有効な役割を果たしている桜や松等の立木について、樹木・樹種を選定し保存・整備する。歴史的景観に配慮した看板・誘導案内板、エリアの散策途中での休憩や各種催事のための多目的広場、トイレ等を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

開墾場エリア内の歩行者の安全性の確保や利便性の向上、さらには周辺施設の回遊性を向上させることを目的にした通路整備・園路整備及び多目的広場整備の周辺環境整備を行い、令和4年度に工事が完成した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【令和4年度】

○周辺環境整備工事: 令和4年6月2日～令和4年11月30日



①通路



②通路



③園路



④園路



⑤多目的広場



⑥多目的広場



評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
蚕室群活用整備事業 【羽黒松ヶ岡地区】	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～令和4年度

支援事業名 市単独事業・社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)・古民家等観光資源化支援事業

計画に記載している内容 松ヶ岡開墾場を歴史的資料や財産として保存するだけでなく、価値を高めるために蚕室を講演会や展示会等を開催する施設として年間を通じ活用し、良好な状態で保存されることで、文化的価値の継承につなげる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年度に史跡内土地・建造物の確実な保存・伝承のために一部財産を取得した。平成29年度から2番蚕室では休憩所開設・飲食提供し活用を進め誘客を図っている。平成30年度には、松ヶ岡開墾場の本質的価値と構成要素を明らかにし、それらを適切に保存管理しながら、各種活用整備の推進の方針として「史跡松ヶ岡開墾場保存活用計画」を策定。本計画に基づき日本遺産事業と連携しながら年間を通じた活用を推進している。

また、4番蚕室を絹産業の歴史・文化を発信する体験施設「シルクミライ館」として、令和3年度に整備し、今年度(4/16)リニューアルオープン。1階では、絹の歴史や産業について学ぶ展示や手織り体験等ができ、2階では、高校生の研究活動の展示や蚕展示飼育を行っている。合わせて、鶴岡「サムライゆかりのシルク」推進協議会と連携し、にぎわい創出イベントや場内を巡るクイズラリー等を行った。

- ・にぎわい創出イベント・・・「松ヶ岡音楽祭」①Jazzのタベ(7/16・70人)、②ミュージックフェス(9/11・110人)
- ・蚕室の公開活用・・・藤沢周平記念館 館外展示
  - ①藤沢作品に描かれた庄内の食 春・夏編(7/30～9/13)
  - ②藤沢周平作品題名書道展 (9/15～10/3)
  - ③藤沢作品に描かれた庄内の食 秋・冬編(12/3～R5.3/21)

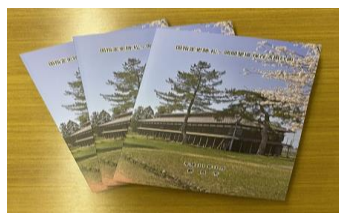
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



史跡松ヶ岡開墾場大蚕室群の取得(平成28年6月)



国指定史跡松ヶ岡開墾場保存活用計画(平成31年3月)



松ヶ岡開墾場4番蚕室  
「シルクミライ館」リニューアルオープン



松ヶ岡謎解きクイズラリー



松ヶ岡音楽祭「JAZZのタベ」 ※再掲



評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
シルクタウンプロジェクト推進事業 【全市域】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～令和4年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容

国内唯一の絹の地域内一貫生産がある地域において、絹産業や絹文化の歴史・魅力を発信することにより、文化的価値の継承につながり歴史的風致の維持向上が図られる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市の近代化の礎となった絹産業の文化を保存継承しながら、新たな産業振興と絹文化の創造・発展を目指すため、産業面と文化面から振興策に取り組み、「ものづくり」「ひとづくり」「普及啓発」の各分野で事業を展開した。

- ものづくり…キビソ等鶴岡シルクのブランド化・販売促進(鶴岡織物産地振興事業)
  - ・産地高度化事業 …他繊維産地や高度な技術連携による鶴岡シルクの商品開発と松ヶ岡開墾場でのPR
  - ・ブランド化事業 …海外展開を視野に入れた商品開発、海外マーケティングやブランド構築
  - ・販売促進事業 …海外での企画展示、首都圏・市内観光施設・温泉旅館での催事販売
- ひとづくり…養蚕復興(養蚕環境整備事業)
  - ・養蚕環境整備事業…閉校の校舎を活用した養蚕環境の整備と地域コミュニティの活性化
- 普及啓発
  - ・蚕飼育体験 …市内幼・保育園、小・中学校、高校等における蚕飼育体験(48施設、7個人・計121キット)、3、4番蚕室での蚕展示飼育
  - ・シルクで頑張る若者応援プロジェクト…シルクに関わる若者の創造性と活動を伸ばすため、市内高校生がシルクをテーマとして取り組む研究活動へ支援。鶴岡中央高校では、被服を学ぶ生徒によるシルクドレスの製作に取り組んでいる。活動成果の発表の場となるイベント「シルクノチカラ2022」(12/11: 荘銀タクト鶴岡・400名)を開催。
  - ・シルクサミット2022in鶴岡…蚕糸技術の普及と継承、社会ニーズに根差した蚕及びシルクの用途拡大と関連産業の発展等を目的に、全国の絹産地で開催。今年度は「サムライゆかりのシルク～ここから先を紡ぎ出す～」と題して本市で初開催。(12/10: 先端研究産業支援センターレクチャーホール・100人)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

シルクタウン・プロジェクトは事業開始から13年目を迎えた。幼保育園で蚕飼育を体験した高校生がシルクの研究活動を取り組むなど、新たなシルクを活用した地域振興が図られている。

状況を示す写真や資料等



kibiso shop  
(松ヶ岡開墾場4番蚕室内)



蚕室での蚕展示飼育



シルクノチカラ2022  
(シルクガールズコレクション)



高校生による研究活動



シルクサミット2022in鶴岡



評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
歴史まちづくり人材育成事業 【重点3地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～令和4年度

支援事業名 文化遺産を活かした地域活性化事業  
社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的建造物の所有者・管理者、鶴岡市ガイドボランティア及び市民等を対象とした、文化財や歴史及び歴史的景観等とその活かし方等に関する学習機会を創出し実施する。  
また、歴史的建造物の保全・活用推進を索引していく人材の発掘や育成、歴史的資源の利活用のマネジメントのための学習機会の創出等について関係者を交えた検討を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【鶴岡公園とその周辺地区】  
・観光ボランティアガイド…鶴岡市観光ガイド協議会のボランティアガイドが市街地周辺の文化施設等を案内。同協議会では月1回会員の情報共有や研修のための例会を実施。(令和4年度実績:回数97回、人数1,247人(令和4年12月末現在))

【羽黒松ヶ岡地区】  
・日本遺産インフォメーションセンター(新徴屋敷)…松ヶ岡開墾場の案内と日本遺産「サムライゆかりのシルク」を紹介(令和4年度来館者数9,371人)。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【鶴岡公園とその周辺地区】



観光ボランティアガイド  
(致道館)



観光ボランティアガイド  
(致道博物館)

【羽黒松ヶ岡地区】



日本遺産インフォメーションセンター  
(新徴屋敷)

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和4年度
項目		現在の状況
鶴岡市歴史的風致維持向上計画啓発事業 【重点3地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成25年度～令和4年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)	
計画に記載している内容	鶴岡市の歴史まちづくりに関する講演とシンポジウム、重点区域のまち歩き等を組み合わせた事業を実施する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
令和4年、徳川四天王筆頭・酒井忠次を祖とする旧庄内藩主酒井家の入部400年の節目の年に、地域の歴史・文化の学びを深める歴史講座等を開催した。 ・歴史シンポジウム(5/7荘銀タクト鶴岡400人) ・歴史講座(①9/3 150人、②10/22 100人、③11/5 100人 ※いずれも出羽庄内国際村にて開催) ・酒井家庄内入部400年記念式典 講演会、徳川宗家と「徳川四天王」による座談会など(10/8荘銀タクト鶴岡1,000人)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等



**歴史シンポジウム**  
 専門家5名による講演と  
 パネルディスカッション



**歴史講座**  
 「三方領知替え」など解説



**酒井家庄内入部400年記念式典**  
 地域の歴史と文化を見つめなおした

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
城下町つるおかりブランディングプロジェクト推進事業 【鶴岡公園とその周辺地区、羽黒松ヶ岡地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	令和元年度 ~ 令和4年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、地方創生推進交付金
計画に記載している内容	松ヶ岡開墾150年、酒井家庄内入部400年を契機として、上質な街並みや景観などの空間整備、歴史的建造物の保存活用を関係団体等と連携して検討、整備する。また、これらを資源とする戦略的な観光誘客などを展開する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和4年、徳川四天王筆頭・酒井忠次を祖とする旧庄内藩主酒井家の入部400年を迎えて、歴史と文化の継承、シビックプライド・郷土愛の醸成を目的とした記念事業を実施した。

- 令和元年度 庄内2市3町、山形県、関係機関による酒井家庄内入部400年記念事業実行委員会を設立
- 令和2年度 酒井家庄内入部400年記念事業のキャッチフレーズ・ロゴマーク、全体事業計画を作成
- 令和3年度 松ヶ岡開墾150年記念事業(トークイベントなど)、酒井家庄内入部400年プレ事業(講演会、高校生古文書研究など)
- 令和4年度 酒井家庄内入部400年記念事業
  - ①酒井家庄内入部400年記念式典 講演会、徳川宗家と「徳川四天王」による座談会など(10/8荘銀タクト鶴岡1,000人)
  - ②鶴岡公園周辺を中心とした庄内2市3町ミュージアム連携(スタンプラリー4/14-11/30:7,500人)
  - ③東京シンポジウムでの観光誘客(7/11日経ホール400人)
  - ④高校生体験(致道博物館歴史展示製作6人/見学9,200人、動画製作5人)
  - ⑤市民活動への支援(藩士が嗜んだ七絃琴復興、庄内論語素読検定、宝生流能楽公演など8件:延2,000人)
  - ⑥学術的な歴史シンポジウム1回・歴史講座3回(計750人)
  - ⑦小中学生の歴史文化研究コンクール(応募46点、作品展10/8~11:500人)
  - ⑧子ども記者プロジェクト(テーマ「鶴ヶ岡城」7/30・9組18人)
  - ⑨400年記念荘内大祭(酒田大獅子・余目姫龍など参加:40,000人)
  - ⑩致道博物館 400年記念特別展(全5章立て「徳川四天王筆頭・酒井忠次」ほか)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



①酒井家庄内入部400年記念式典  
地域の歴史と文化を見つめなおした



②ミュージアムスタンプラリー  
庄内2市3町26館の  
記念展示めぐり



③東京シンポジウム  
会場でグッズ販売と誘客PR



⑤市民活動支援  
庄内論語素読教室



④高校生体験  
致道博物館での歴史展示製作



⑥歴史講座  
「三方領知替え」など解説



⑦小中学生歴史文化研究  
コンクール作品展  
熱心な作品が並んだ



⑧子ども記者プロジェクト  
「鶴ヶ岡城」をテーマに  
子どもたちが取材





⑨400年記念荘内大祭  
庄内地域のおまつりが  
鶴岡公園周辺に集結



⑩致道博物館記念特別展  
酒井家初代・忠次ゆかりの  
「酒井の太鼓」などを展示



		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
市指定有形文化財大宝館整備事業 【鶴岡公園とその周辺地区】		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成29年度～平成30年度, 令和3年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	市指定有形文化財大宝館の修繕として、外壁塗装・木製建具改修・瓦屋根全面改修・ドーム補修及び塗装を実施するほか、1階東側を、鶴岡公園の正面広場に隣接する全天候型の休憩スペースとして活用整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
大宝館は、大正4年に大正天皇の即位を記念して建設された本市を代表する洋風建築物で、現在は市の郷土人物資料館として市民や来訪者に親しまれている。 令和3年度には、鶴岡公園の利用者が休憩等のために大宝館に訪れ、天候や季節を問わずにゆっくり、多世代交流の場となるように整備を行った。1階展示室内の展示ケースを一部撤去して開放的な空間を確保することで室内の意匠を見学し易くし、1階東側の室内にエアコンや自販機を設置して休憩スペースとした。 令和元年度まで2万人以上を維持してきた入館者数は、コロナ禍の影響により令和2年度に7,321人まで落ち込んだが、令和3年度には10,451人、令和4年12月末の時点で16,014人まで回復している。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
1階の活用整備 ・整備前(赤矢印: 撤去する展示ケース) 			
・整備後(展示ケース撤去) 			
⇒			
・1階東側①(赤矢印: エアコン新設) 		・1階東側②(赤矢印: エアコン新設) 	

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
<p>史跡松ヶ岡開墾場保存修理事業 【羽黒松ヶ岡地区】</p>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成10年度～令和4年度		
支援事業名	歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業		
計画に記載している内容	「史跡松ヶ岡開墾場保存管理計画策定報告」に基づき、平成10年度から年次的に行っている蚕室等保存修理の継続と防災設備設置工事を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成10年度から史跡内建造物の保存修理工事を実施している。 令和3年度は貯桑土蔵の大規模保存修理に先立ち、工事全体の計画をするための基本設計を実施した。 令和4年度は貯桑土蔵の保存修理で目指すべき年代を確定するために学識者による痕跡調査を実施した。 今後は、令和5年度に実施設計を行った後、令和6年度から7年度までの解体調査、令和8年度から10年度までの組立工事を予定する。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	史跡内の建造物が建設されてから約150年が経過し、建物の老朽化が著しく、計画的な大規模修理が必要な状況となっているが、他事業との兼ね合いなど全体的なバランスを取る中で計画に遅れが生じている。建物ごとに老朽劣化の進行が異なるため、劣化の現状に合わせて適切に保存修理を実施する。		
状況を示す写真や資料等			
			
貯桑土蔵(南面)			
			
貯桑土蔵(北面)			

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
民俗芸能保存伝承支援事業 【全市域】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成18年度～令和4年度		
支援事業名	市単独事業 山形ふるさと塾形成事業、(財)地域創造助成事業		
計画に記載している内容	・無形民俗文化財民俗芸能に関する支援を実施する。 ・無形民俗文化財保存団体の活動助成及び継承に必要な衣装や道具の更新等に関する費用等の各種助成制度の情報提供など必要な支援を行う。 ・過去に作成した無形民俗文化財のアナログ記録映像のデジタル化と、未記録の無形民俗文化財について新たな記録保存を行う。 ・無形民俗文化財保存団体のネットワーク構築や発表機会創出等の検討及び開催支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・例年、保存継承活動のための補助金として、藤島伝統芸能振興協会、高寺八講保存会、町屋神楽保存会、黒川能保存会、山五十川古典芸能保存会、木野俣獅子踊り保存会、小国八幡宮弓射神事保存会に対し、補助金交付要綱に基づき補助対象経費の2分の1の額(上限額あり)を交付しており、今年度も交付した。 ・(一財)丸高歴史文化財団は(株)丸高が地域文化の向上発展に寄与するため設立された財団で、伝統工芸の継承や伝統芸能の保存に尽力している団体等に資金援助している。これについて市内の無形民俗文化財保存団体に周知を図った。(採択件数:令和元年度3件、令和2年度2件、令和3年度1件、令和4年度1件) ・『民俗芸能保存団体情報交換会』を開催し、各団体がそれぞれの規模でどのような悩みを抱えているか把握し、相互交流を通して活動の存続と発展のための機会とし協議会立上げについても意見交換を行った。 ・『鶴岡市民俗芸能交流発表会』を開催し、担い手のやりがいの場の創出を図り、また市民が地元の民俗芸能・継承活動を知るうえで貴重な機会となった。また、発表会を映像記録として保存した。 ・令和3年度「地域伝統芸能等保存事業」((一財)地域創造)の助成を受け、未記録の無形民俗文化財(六所神社の獅子舞)を映像記録として保存した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	将来的には市内民俗芸能団体同士が組織をつくり、発表会の開催等保存継承のための取り組みを自主的に実施できるように方向づけていく。		
状況を示す写真や資料等			
 <p>令和4年度 民俗芸能保存団体情報交換会 (令和4年7月29日 会場:鶴岡市中央公民館)</p>		 <p>市が保存継承活動を支援する 「高寺八講保存会」</p>	
 <p>令和4年度 丸高歴史文化財団助成決定団体 「大山いざやまき保存会・キッズ華の会」</p>		 <p>令和4年度 鶴岡市民俗芸能交流発表会 (令和5年2月4日 会場:荘銀タクト鶴岡)</p>	



		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	・未指定文化財について、必要に応じて調査を行い、市指定や国の登録制度を活用することを検討するなどし保存継承に努める。 ・埋蔵文化財包蔵地については、現状把握及び適切な保護措置に取り組む。また、未発見の埋蔵文化財の保護のため、民間事業者の開発行為の事前把握に努め、必要に応じて試掘等確認調査を行うなど、開発事業と文化財保護の整合に努める。 ・鶴岡市文化財保護審議会により、文化財の保存及び活用について教育委員会の諮問に応じ調査研究を行うなどし意見具申を行う。 ・保存活用計画の未策定文化財については、文化財としての価値を毀損することのないように適切な保存と活用について検討する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・江戸時代後期の武士の住宅である安倍家住宅について調査を行い、敷地と建物を市指定史跡とした(指定日:R5.1.26)。 ・埋蔵文化財調査及び未指定文化財の現況調査を実施した。 ・国指定史跡松ヶ岡開墾場については、毎月第1火曜日に事業所連絡会を開催し、11~15名の出席を得て市と関係者の意思疎通を図った。連絡会の開催を通じて事業者や地域の関係者の理解を得ることにより史跡内の保存活用計画を推進できた。 ・令和3年11月に鶴ヶ岡城跡馬出遺構から出土した石について、令和4年4月に市民への説明会を開催した。また、出土石の活用について、庁内検討委員会を開催して活用方針を決定した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○埋蔵文化財等文化財調査 ・現地踏査実施箇所 4ヶ所 「獅子岩城跡近接地」「高坂館跡」等 ・立会調査実施箇所 9ヶ所 「国史跡松ヶ岡開墾場」「鶴ヶ岡城跡」「山田遺跡」等 ・試掘調査実施箇所 3ヶ所 「鳥居上遺跡」「山田遺跡」「遺跡可能性地(中野京田地内)」 ・埋蔵文化財包蔵地に係る各種事業照会(令和5年1月31日現在) 公共事業 12件、民間事業190件 合計202件 ○文化財指定 ・文化財保護審議会 2回開催(令和4年5月20日、令和4年11月22日) ・出羽三山「生まれかわりの旅」推進協議会 総会(令和4年8月24日※書面決議) ・鶴岡「サムライゆかりのシルク」推進協議会 総会(令和4年6月22日) ○計画策定等 ・第2回史跡松ヶ岡開墾場保存活用計画監理委員会(令和5年2月開催予定) ・史跡松ヶ岡開墾場事業所連絡会(毎月第一火曜日開催) ・令和3年11月に鶴ヶ岡城跡馬出遺構から出土した石の活用方針を定めるため、鶴ヶ岡城跡馬出遺構活用検討委員会(令和4年7月15日)及びプロジェクト会議(5月31日、7月5日)を開催。			
			
令和4年5月23日 山田遺跡試掘調査		令和4年11月22日 鶴岡市文化財保護審議会 「安倍家住宅」現地調査	
			
令和4年5月31日 鶴ヶ岡城跡馬出遺構活用検討委員会プロジェクト会議			

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
文化財の修理、周辺環境の整備		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	・文化財の修理について、所有者及び管理者等と連携し、適切な助言や必要な支援措置を検討し進める。 ・指定文化財の保存修理にあたっては過去の調査記録などの成果を活用するとともに、有識者、専門家より意見聴取を行い、それらの知見を踏まえた総合的な整備を図る。 ① 重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業 ② 重要文化財羽黒山正善院黄金堂防災事業 ③ 史跡松ヶ岡開墾場保存修理事業 ・文化財の周辺環境は、関係規制、制度の積極的な活用により、文化財の価値や魅力が大きく損なわれないように注意しその保全を図る。また、重点区域においては歴史的風致の維持及び向上を図るための周辺道路の高質化・美装化や無電線化などの整備事業など文化財及びその周囲の景観や環境との調和を図る。 ・文化財建造物について、所有者及び管理者と連携し自動火災報知設備及び消火器具等の設置を図り、所有者及び地域住民、消防署が一体となった防災訓練の実施に努める。 ・文化財を展示公開している施設について、防犯に対処するために必要な措置を講ずるよう指導するとともに、常日頃からの防犯・防災への意識の高揚に努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・指定文化財の所有者が実施した保存修理事業に対して、市は補助金を交付して支援を行った。 ① 旧西田川郡役所保存修理事業(災害復旧工事) : 公益財団法人致道博物館 ② 羽黒山五重塔ほか1棟保存修理事業 : 宗教法人月山神社・出羽神社・湯殿山神社 ③ 名勝金峯山山内末社(須佐之男神社)保存修理事業 : 宗教法人金峯神社 ・史跡松ヶ岡開墾場保存修理事業について、令和4年度は貯桑土蔵の保存修理で目指すべき年代を確定するために学識者による痕跡調査を実施した。 ・文化財防火デーに合わせて防火訓練を行っている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	史跡松ヶ岡開墾場内建造物が建設されてから約150年が経過し、建物の老朽化が著しく、計画的な大規模修理が必要な状況となっているが、他事業との兼合いなど全体的なバランスを取る中で計画に遅れが生じてきている。計画の見直しを行いつつ着実に保存修理を進める。		
状況を示す写真や資料等			
○旧西田川郡役所保存修理事業(災害復旧)	○羽黒山五重塔ほか1棟保存修理工事		
			
木製フレーム設置による耐震補強	茅葺屋根が老朽化した重要文化財羽黒山鐘楼		
○名勝金峯山山内末社保存修理事業	○文化財防火デー		
			
須佐之男神社(揚屋による基礎部分修復工事)	令和5年1月26日 致道博物館 (旧洪谷家住宅、旧西田川郡役所、旧鶴岡警察署庁舎など)		

項目		評価対象年度	令和4年度
			現在の状況
文化財の普及・啓発、防災訓練、民間団体への助成・支援・協力			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	・所有者及び管理者と市が連携をとりながら、文化財の保存に努めるとともに、鶴岡の歴史的風致の維持向上のために文化財の公開に努めるなど啓蒙普及を図る。また、特に重点区域においては、案内板整備及び説明板や解説資料の充実も図る。 ・文化財の存在とその価値について広く理解を得るため、市と文化財所有者・管理者が連携して、文化財の公開に努め、気軽に親しむことができる機会の創出及び市広報やHPを活用し情報発信を行う。 ・様々な文化財に関わる団体の活動により、近年は、歴史的文化の重要性の再認識やその保護・活用に対する市民の関心は高まりつつあることから、今後は一層、これらの団体への情報提供に努めるとともに相互に連携し、市民の文化財の保存・活用への意識高揚を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・市内の文化財を知る機会や守り伝えていく啓発事業として、小学生向けに「つるおか文化財めぐり」を2テーマ計4回開催した。 ・松ヶ岡開墾開墾記念館で酒井家庄内入部400年記念企画展示を実施した。 ・民俗芸能交流発表会を開催し、地域に伝わる伝統芸能を広く市民の方へ周知する機会を創出している。 ・研修・講演・会報の発行などに取り組んでいる文化財愛護協会の活動を支援することで、市民の文化財愛護思想の啓発を推進した。 ・文化財防火デーに合わせて防火訓練を行っている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 <p>令和4年7月24日、8月10日「つるおか文化財めぐり」                      (参加者親子17組 38名)                      (鶴岡公園、金峯山)</p>		 <p>令和4年9月24日「つるおか文化財めぐり」                      (参加親子13組30名)                      (日本遺産北前船関連 加茂のまちなみ)</p>	
 <p>鶴岡市文化財愛護協会定例会及び記念郷土史講座                      (令和4年5月26日 西郷地区農林活性化センター)</p>		 <p>令和5年1月19日 文化財防火デー消防訓練                      旧風間家住宅(丙申堂)</p>	



評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度 年月日	令和4年度 掲載紙等
シルクミライ館が16日開館 松ヶ岡開墾場の四番蚕室に	令和4年4月8日	コミュニティしんぶん
節目の年 記念事業スタート 致道博物館で特別展「徳川四天王筆頭 酒井忠次」	令和4年4月15日	荘内日報
出土遺構に歴史を感じ 鶴岡市馬場町道路工事現場 「馬出」金峯石「発見報告会	令和4年5月1日	荘内日報
地域の伝統芸能受け継ぐ 五穀豊穡願い春祭り 力強く華やかに花笠舞	令和4年5月6日	荘内日報
3年ぶり「化けもの」にっこり 鶴岡天神祭 お酒の代わりに消毒	令和4年5月26日	山形新聞
訪日観光再開に期待 観光庁実証事業出羽三山など巡る	令和4年5月31日	荘内日報
松ヶ岡の「カスミ桜」2代目“里帰り” 親木から受け継ぎ歴史見守るシンボルに	令和4年6月12日	荘内日報
松ヶ岡開墾150年祖先の功績感謝	令和4年6月14日	河北新聞
祖先の偉業をたたえる 鶴岡で式典松ヶ岡開墾場150年	令和4年6月14日	山形新聞
鶴岡「松ヶ岡開墾150年」記念式と祝賀会 先人の労苦思い歩み振り返る	令和4年6月14日	荘内日報
地域情報サイト「ショウナイ ファン」開設 酒井さんとクリエイターら連携し魅力届ける	令和4年6月15日	荘内日報
酒井家入部400年の歴史、街の景色 魅力伝える30秒 高校生、PR動画制作	令和4年6月19日	山形新聞
手向門前市にぎわう 鶴岡 ポケットパークで初開催	令和4年6月30日	荘内日報
東京で酒井家入部記念シンポジウム 400年の歴史ひもとく 基調講演と酒井さんらパネルディスカッション	令和4年7月15日	荘内日報
五重塔幻想的にライトアップ始まる	令和4年7月19日	荘内日報
致道館の学びの精神今に 庄内論語素読教室 大切な思いやりの心受け継ぐ 夏休み恒例小学生親子ら学ぶ	令和4年7月31日	荘内日報
鶴ヶ岡城の歴史取材だ！ 酒井家入部400年記念 こども記者プロジェクト	令和4年7月31日	山形新聞
出羽三山「日本遺産」認定継続 重点支援地域に	令和4年8月5日	荘内日報
庄内藩米蔵「七ツ蔵」の堀 初確認 鶴ヶ岡城跡発掘調査 鶴岡南高で現地説明会 大宝寺城時代の遺構も検出	令和4年8月16日	荘内日報
羽黒山と庄内藩 いでは文化記念館企画展 つながりひもとく絵図や文書 天有別当の事蹟「羽黒山と芭蕉」資料も	令和4年8月18日	荘内日報
松ヶ岡開墾場にジャズナンバー響く 歴史と融合、訪れた100人のファン魅了	令和4年9月14日	荘内日報
羽黒山 幻想的に 光と音楽で色彩する プロジェクションマッピング	令和4年9月20日	荘内日報
孔子の教え・学びの心新たに 孔子祭と致道館の日 児童・生徒論語作文表彰式も	令和4年9月27日	荘内日報
「致道博物館」観光客前年比2倍に 特別展開催 酒井家庄内入部400年効果	令和4年9月30日	荘内日報
記念事業 9日「荘内大祭」と「にぎわい市」 伝統の大名行列 食文化楽しむイベント多彩	令和4年10月1日	荘内日報
手作り作品 楽しい出会い 松ヶ岡開墾場でクラフトフェス	令和4年10月2日	山形新聞
酒井家庄内入部400年 次代へつなぐ庄内の歴史と文化	令和4年10月7日	コミュニティしんぶん
酒井家入部400年祝う記念式典 「徳川四天王」現当主そろい踏み	令和4年10月10日	荘内日報
鶴岡・酒井家入部 記念式典と荘内大祭 400年の節目 市民と共に	令和4年10月12日	山形新聞
転封阻止の喜び表現 酒井家庄内入部400年祝う お居なりばやしパレード	令和4年10月13日	荘内日報
大手門に通じる土橋の一部検出 鶴ヶ岡城跡発掘調査説明会	令和4年10月14日	荘内日報
歴史文化学び魅力知る 鶴岡で「酒井家ゆかりのまちなかめぐり」	令和4年10月19日	荘内日報
鶴岡シルク特別企画展「ファンファーレ」扇の舞	令和4年10月21日	荘内日報
酒井家庄内入部400年を祝う「成年大祭」	令和4年10月29日	荘内日報
「酒井家の明治維新」紹介 入部400年記念展第5部	令和4年11月4日	山形新聞
「歴まちカード」集め 鶴岡にぜひ 東北地方整備局6県11市町で配布開催	令和4年11月5日	山形新聞
論語書道展表彰式 藩校致道館の精神・文化継承 児童・生徒の頑張りをたたえる	令和4年11月8日	荘内日報
酒井家の家紋入り扇子 鶴岡商工会議所鶴岡シルク 入部400年で開発、販売	令和4年11月11日	山形新聞
城下町鶴岡の「顔」完成 芝生広場や休憩施設整備	令和4年12月31日	荘内日報
忠次公(庄内藩主酒井家初代)どう描かれるか 家康支えた四天王筆頭	令和5年1月1日	荘内日報
地域の伝統を次世代へ 鶴岡市民俗芸能交流発表会	令和5年1月18日	山形新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で  
 本市の各重点区域における歴史的風致について広く報道され情報発信されている。  
 新型コロナウイルス感染症の影響により各種イベント等の開催が見送られた経過もあるが、歴史ある歴史的建造物や伝統文化・祭礼のほか、令和3年度に松ヶ岡開墾150年、令和4年度に酒井家庄内入部400年を迎える取り組みに関する報道も行われており、本市の歴史的風致・文化・まちづくりに対する関心が喚起され、広く周知されていると考えられる。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	



評価軸⑥-1  
その他(効果等)

評価対象年度 令和4年度

項目

歴史的風致維持向上計画事業実施の効果

計画に記載している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

【鶴岡市における外国人宿泊者数の推移】

外国人延べ宿泊者数については、計画認定を受けた平成25年は2,760人であったが、歴史的風致の向上等魅力ある観光資源の構築が図られ、以後毎年増加傾向にあり、令和元年(2019)においては13,047人と約4.7倍の増加となった。令和2年(2020)及び3年(2021)はコロナ禍により減少に転じた。

※平成29年(2017年)の数値は、前後の年度の実績と大きな乖離があるが、具体的な要因は観光庁でも不明。

【羽黒手向地区】

宿坊街の沿道空間は歴史的風致の保全に重要な景観形成要素であり、統一感のある修景整備を行うことで良好な景観が形成され歴史的風致の維持及び向上が図れている。

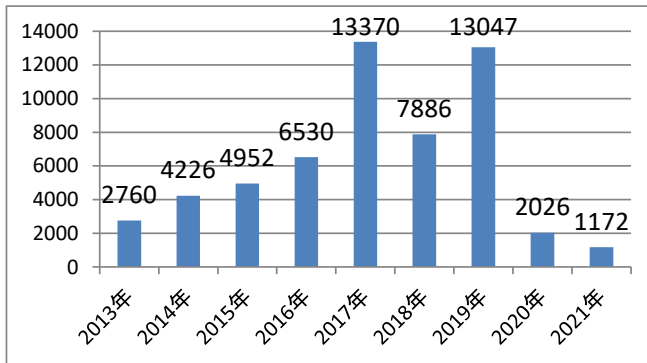
平成29年度から修景整備に取り組み、これまで32件の整備が行われた。道路に面する建物や土塁、生垣、植栽等の外構、宿坊街の佇まいを感じる特徴的な建造物の修景整備により、地域住民はもとより、手向地区に訪れる国内外の観光客等にも、平成28年度に日本遺産に認定された出羽三山の構成要素でもある手向地区宿坊街の歴史的風致が体感できる空間を構成している。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



鶴岡市における外国人延べ宿泊者数の推移(人泊)

※観光庁「宿泊旅行調査」より

※観光庁より

○訪日外国旅行者数

2019年:3,188万人→2020年:412万人

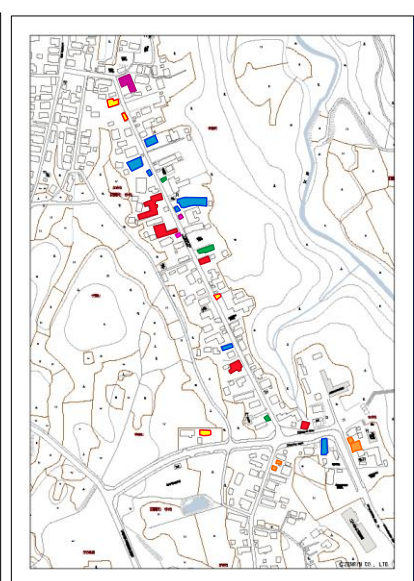
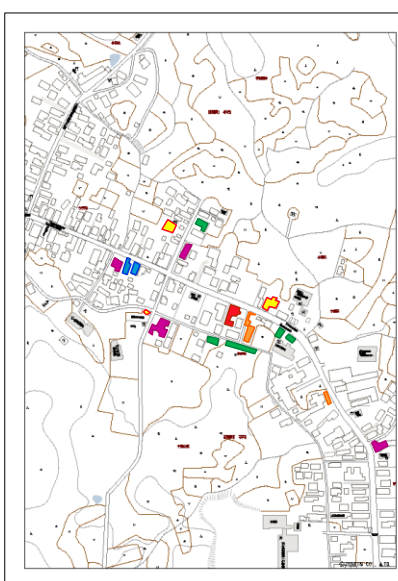
(△87.1%)

○鶴岡市における外国人宿泊者数

【羽黒手向地区】

宿坊街まち並み保全及び修景整備促進事業 事業実績:39件

・平成29年度:6件 平成30年度:7件 令和元年度:6件 令和2年度:6件 令和3年度:7件 令和4年度:7件



■ 29年度施工(6) ■ 30年度施工(7) ■ 31年度施工(6) ■ R2年度施工(6) ■ R3年度施工(7) ■ R4年度施工(7)

評価軸⑥-2  
その他

評価対象年度 令和4年度

項目

歴史的風致維持向上計画の説明、視察対応

計画に記載  
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

市内の学生・町内会等への歴史景観づくりの説明、他自治体からの視察対応、歴史的風致維持向上計画関連会議・サミット等への参加と本市の歴史・まちづくり、歴史的風致維持向上計画説明により、計画の周知を図っている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

- ・令和4年5月19日 歴史的風致維持向上計画現地視察  
対象者:国土交通省東北地方整備局 建政部、計画管理課、都市・住宅整備課 6名
- ・令和4年8月23日 景観まちづくり現地視察  
対象者:国土交通省都市局公園緑地・景観課、東北地方整備局計画管理課 4名
- ・令和4年10月18日 令和4年度景観形成研修(応用編)  
対象者:県職員・県内市町村職員 11名
- ・令和4年11月4日 歴史的風致維持向上計画現地視察・歴史まちづくりカード贈呈式  
対象者:国土交通省東北地方整備局 建政部、計画管理課 2名
- ・令和4年12月20日 福島県柳津町視察  
対象者:福島県柳津町文化財保護審議会 6名

令和4年度は、他自治体・団体等からの視察依頼など、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、対応件数は例年に比べ極端に少なかった。

一方で、令和3年度の松ヶ岡開墾150年、令和4年度の酒井家庄内入部400年の記念事業・関連事業を実施し、市民内外への歴史・文化・まちづくりに関する講演や講座等が多く開催され、広く情報発信・普及啓発が図られた。



評価対象年度	令和4年度
法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会	
会議等の開催日時: 令和5年2月21日(火) 13:30	
(コメントの概要)	
<p><b>【会議結果】</b>                  ・令和4年度事業についての評価・報告、鶴岡市歴史的風致維持向上計画の変更(軽微な変更)についての承認</p> <p><b>【主なコメント】</b></p> <p>◆個別事業</p> <p>・鶴岡公園内堀周辺道路修景整備                  鶴岡公園脇の道路は、歩道は広いが車道が狭く通るのが大変である。                  →道路の整備前と比べても道路の幅員自体は変わっていない。無電中化も実施し、片側の歩道は広くなったが車道は整備前と同じであるが、歩道と車道の上にポールを設置したことで、車で通行するときに狭く感じるのではないかと推測する。当該道路は歩行者自転車、観光客の利用も多いことから、歩行者等の安全確保も大きな整備の目的である。</p> <p>◆効果測定</p> <p>・効果の測定として「外国人延べ宿泊者数」があったが、歴史的風致のある地域に住んでいる人の満足度のような評価も欲しい。</p>	
(今後の対応方針)	
<p>・市民との意見交換を行いながら、歴史的な景観の保全、文化財の保存と活用、良好な住環境の整備を図っていくように努めていく。</p> <p>・啓発事業やイベントなどにおける参加者からの意見聴取や地域住民の意向、歴史的建造物の所有者や事業者など、多面的な観点から事業の評価検証を行うよう努めていく。</p>	